

# 加賀市スマートインク ルーション事業について

平成31年1月11日 加賀市健康福祉部ふれあい福祉課

# 1. 事業の背景及び主旨

- 人は高齢になると、目や耳が悪くなり判断力が落ちるなど、徐々に障がいを抱えていきます。障がい者のニーズを知り、その対策を進めることは高齢者も含めた暮らしやすい都市（まち）をつくることに繋がります。
- これまで障がいのある人は、人の助けがなければ一人で生きていくことは難しい状況にありました。しかし、近年のテクノロジーの進歩により、これを活用することで、その支援者の負担も軽減するとともに、生まれ育った家で、親なき後も安全安心に見守られながら、一生を過ごすことも夢ではない時代となりました。
- 加賀市は、様々な団体や企業の皆様と連携・協力し、障がいのある人の視点から最新のテクノロジーを開発・活用することで「誰もが安全安心に暮らせ社会に参画できる都市（まち）づくり」の実現に取り組むものです。

## 2. 平成30年度事業

### ・ スマートインクルージョン推進宣言（7月1日）

加賀市が全国に先駆け、スマートインクルージョンを推進していくことを市として宣言した。

### ・ スマートインクルージョン構想（全体計画）の策定

加賀市の背景、課題、長期的な方向、短期的な施策、効果などをまとめたものとなる予定。短期的な施策については3年程度で見直すことを考えている。（現在策定中）

### ・ 障がい者情報一元化に係る調査業務

障がい者情報一元化に向けて、採用するシステムの検討・調査、障がい者、団体等へのヒアリング調査、法的な問題点の調査、システムイメージの検討などを行う。（年度内の業務）

## スマートインクルージョン推進宣言

～ 誰もが安全安心に暮せ社会に参画できる都市(まち)づくり ～

スマートインクルージョンとは、AIやIoT、ブロックチェーンなどの最新技術を使ったサービスを障がいのある人の視点で開発・活用することで、障がいのある人もない人も全ての人々が、安全安心に暮らせ、社会に参画できる未来を目指すという発想であります。

人は高齢になると、目や耳が悪くなり判断力が落ちるなど、徐々に障がいを抱えていきます。たとえ高齢になっても、誰もが安全安心に暮らせる都市(まち)を構築することは、市民すべての願いであります。

また、これまで障がいのある人は、人の助けがなければ一人で生きていくことは難しい状況にありました。しかし、近年のテクノロジーの進歩により、これを活用することで、その支援者の負担も軽減するとともに、生まれ育った家で、親なき後も安全安心に見守られながら、一生を過ごすことも夢ではない時代となりました。

よって、加賀市は、様々な団体や企業の皆様と連携・協力し、それぞれに不便を抱えて暮らしている障がいのある人達のニーズを知り、その知見を総合した都市(まち)づくりを実現するため、全国に先駆けて、スマートインクルージョンの推進に取り組むことをここに宣言します。

2018年7月1日 石川県加賀市 加賀市長 宮元 陸

## 3. 平成31年度以降の事業

平成31年度以降に行う具体的な事業については、当初の3年間に行う事業として下記の事業を検討している。

### (1) 情報一元化

平成30年度の調査をもとに市や関係機関等の中で障がい者情報の一元化システムを構築する。障がい者の障がい程度や障害サービス利用履歴、必要とする障害サービス等の情報を共有することで、それぞれの事業所等での説明や申請等の事務の軽減化と障がい者対応の強化を図る。

### (2) スマートホーム

障がい者の見守りシステムの構築するための実証を進める。在宅の障がい者の体調の変化等の状況を見守り者が様々な方法での把握を可能とすることで、障がい者の安全、見守り者の負担軽減を図る。

実証においては、市内の障がい者に協力いただくこととしている。

最初の実証として、ベッドセンサーシステム（ベッド上の障がい者の体調変化等を把握するシステム）を想定している。

## 3. 平成31年度以降の事業

### (3) スマートモビリティ

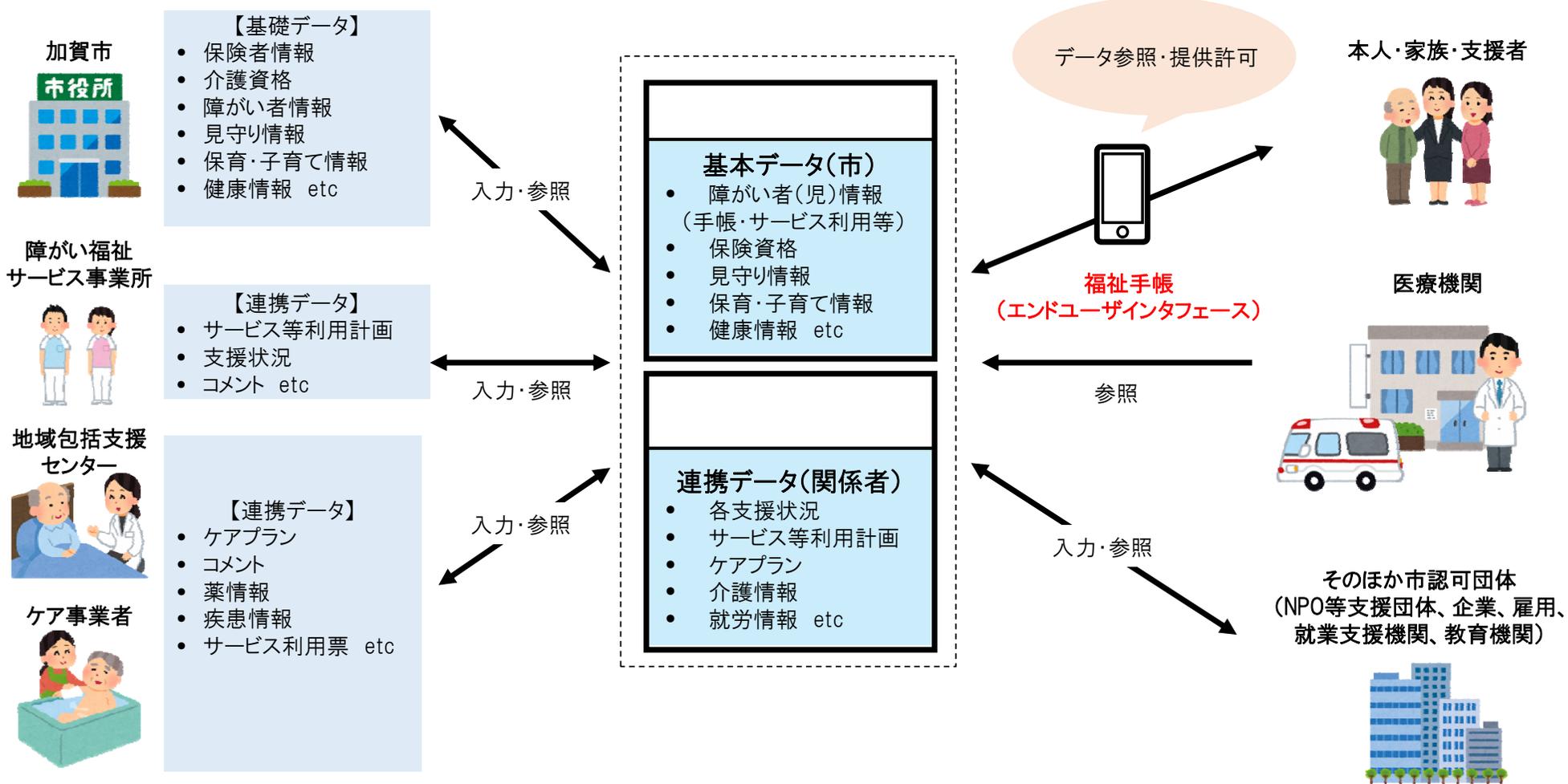
障がい者の移動の便利を図るシステムを構築するための実証を進める。市内の道路や建物の移動の際に安全な行路や障害物を事前に告知するシステムなど障がい者の安全安心な移動を可能とすることを目指す。

実証においては、市内の障がい者に協力いただくこととしている。

### (4) サテライトワーク

障がい者がサテライトオフィス（テレワーク等）を通じ事業主から雇用を得るシステムを構築する。障がい者に新たな働き方を可能とすることで、障がい者のじりつ可能なまちを目指す。

# 障がい者情報一元化のイメージ図



# 4. 「障がい者個々人のデータの収集と共有化」に対する意見・課題

## (1) 収集するデータ

障がい程度の情報（障害者手帳等）  
障がい者サービス利用実績  
希望する障がい者サービス  
支援者（家族等）の情報 など

## (2) データ収集の方法

同意書に基づき情報を提供してもらう

## (3) 自治体としての関与の仕方

障がい者本人や関係機関への情報周知  
個人情報保護